

「創造」 黒木中だより 第7号

令和3年10月14日



八女市立黒木中学校
八女市黒木町北木屋60
☎ 0943-42-0109
編集責任者 山口 繁喜

朝と昼の寒暖差が大きくなり、一層秋が深まってきました。「♪誰かさんが 誰かさんが 誰かさんが 見つけた♪」みなさんは、どんな「小さい秋」見つけましたか。

八女地区中学校音楽創作コンクール

夏休みの宿題として出されていたアルトリコーダーで作曲する音楽創作コンクールの審査がありました。その結果6名が入賞しました。



生徒会役員改選

9月28日に生徒会の改選に向けて、生徒会三役への立候補者の立ち会い演説会および投票が行われました。今年は、緊急事態宣言下のため、ビデオに録画し、各教室でそのビデオを見る立ち会い演説会となりました。全体の場での演説とはなりませんでしたが、立候補者、応援者のしっかりとした生徒会活動への思いと決意が伝わってきました。先輩たちの意志を受け継いで伝統ある黒木中学校を発展させてくれることでしょう。

生徒会三役
会長
副会長
書記



前期から後期へ

前期の授業日数は約100日でした。約4ヶ月が緊急事態宣言・蔓延防止下で、制限された状況下ではありましたが、生徒総会・各行事のスローガンづくり・スタディコンクールなどの生徒会活動、ブロックの創作ダンス、部活動と素晴らしい活動が展開されました。また、日々の授業へも落ち着いた態度で臨めていました。各個人についての活動の様子は、通知表でお知らせしています。どうだったでしょうか。本年度より、中学校の評価の観点点が4項目から3項目へと変わりましたので簡単に説明します。この3項目

は、身につけて欲しい資質や能力で、一つ目は、生きた「知識や技能」の習得、二つ目は、それをもとに、「思考・判断・表現する」活用していく力、三つ目はそれらの学びを深めていくときの、「主体的に学びに向かう」学び続ける態度となります。この評価をもとに、自分の学びを振り返り、後期につなげていってください。

後期の授業日数も約100日です。お互いが「認め合い」、「関わり合い」、「支え合い」、その基盤の上に、主体的な学びと豊かなつながりを築いていってください。「聴き合う」こと、「対話する」ことを大切にすることから後期のスタートとしてください。

中体連新人大会



○八女地区新人大会

9月18日に陸上、10月6、9日に剣道、卓球、ソフトボール、卓球、柔道の新人大会に出場しました。2週間程度の練習で、練習不足は否めませんでした。貴重な経験が積めたと思います。陸上では3位以内に入賞した2名、団体優勝した女子剣道、男子卓球、ソフトボール、柔道は筑後地区大会へ出場します。

<八女地区新人大会入賞>

ソフトボール	優勝	柔道	団体	優勝	共通200M	5位
女子バレー	3位		個人	2位	共通砲丸投げ	1位
女子剣道	団体			3位	共通400M	5位
	個人	陸上(女子)			2年三段跳び	1位
男子卓球	団体	共通200M		5位	共通走り高跳び	6位
	個人	陸上(男子)			1年1500M	7位
		1年100M		5位	2年1500M	8位
				7位	400MR	5位

○筑後地区新人陸上大会

9月29日に行われた、筑後地区新人陸上大会に2名が参加しました。さんが県大会へ出場します。

<筑後地区新人陸上大会入賞>

2年三段跳び 5位
共通砲丸投げ 9位



☆ 保護者の皆さまへ ☆

10月1日より、緊急事態宣言が解除されました。感染防止対策をとりながら、油断せず、少しずつ通常の活動に近づけています。現在、昨年実施できなかった文化発表会(合唱)への取組を始めました。マスクをしたままの合唱と制約がある中、この取組を唯一知る3年生が後ろ姿で、引き継がれてきた伝統を示しています。23日の発表会の当日は、3年生の保護者各家庭1名のみのお参観とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。